

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 038	提案機関名 農業技術センター
要望問題名 一番茶の生産のみを対象とした低コスト病害虫防除体系の確立	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 県内の茶産地では、一番茶のみ生産を行い、二番茶や秋冬番茶などの生産は行わない茶園がほとんどであるが、現在の病害虫防除体系は、二番茶以降の生産も考慮したものとなっている。一方、一番茶の生産のみを対象とした病害虫防除体系を確立することは、環境負荷および生産コストの削減に繋がる可能性がある。そこで、一番茶生産のみを対象とした病害虫防除体系の確立をお願いしたい。	
	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	北相地区事務所研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	消費者ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発 茶の高品質・安定生産技術の開発		
対応の内容等	近年の県内茶需給バランスを考えると、いっそう一番茶のみ生産の茶園が増えると考えられます。一番茶のみ摘採に対応した栽培管理方法については、二番茶を摘採せずにせん枝する管理方法について高知県の成果があり、作業の省力化と病害虫防除回数の削減によるコスト低減化が実証されています。 そこで、本成果を踏まえ、一番茶摘採後にせん枝を取り入れた栽培管理とそれに対応した薬剤散布の組み合わせによる、本県に適した一番茶のみを摘採する省力的栽培・防除技術体系の確立について実証試験を実施します。 資料名 高知県農業技術センター茶業試験場成果平成25年(2013)普及「年1回一番茶のみの収穫に適した高品質多収・省力栽培管理技術」		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			